

## 次年度に向けた改善方策

- ① 数値目標は、下記項目を設定する。
  - 面接、校内研修により授業内容を工夫改善し、生徒が理解しやすい授業にする。  
「授業内容はよく理解できる」という生徒の割合 75%以上を目指す。
  - 全教員と外部指導員で部活動等を充実させ生徒の個性の伸長を図り、充実感を更に高める。  
「部活動は充実している」という生徒の割合 75%以上を目指す。
  - 「学び舎」と地域の連携活動をより充実させ、地域と共に育てる教育を推進する。  
「地域の活動や行事によく協力してくれる」という地域の割合 75%以上を目指す。
- ② 生徒一人一人が自己肯定感・有用感を持てるよう主体的に活動する機会を計画的に設定する。
  - ・行事等において生徒に主体的に運営させる場面を計画的に設定し、その機会を増やしていく。
  - ・部活動のさらなる充実を図り、生徒一人一人の目標が達成できるように取り組ませていく。
  - ・一人一人の基礎学力の確実な定着を図り、自信を持って学習に取り組んでいけるようにする。
- ③ キャリア教育としての進路指導の充実を図り、生徒・保護者の意識を高める。
  - ・進路指導の3年間を見通した、全体計画、学年ごとの目標等を保護者会やたよりを通して周知していく。
  - ・進学指導については、保護者への各内容の情報発信の時期を事前に知らせていくとともに、発信時期と内容が保護者のニーズに合致させていくように改善を図っていく。
- ④ 学校からの情報発信機能のさらなる充実を図る。
  - ・ホームページ全体構成の見直しを図り、より見やすくなるように改善を図っていく。
  - ・各部活動の活躍状況をできるだけ早くホームページに記載していく。
  - ・食材産地更新と通常更新とのすみ分けできるように工夫改善していく。
  - ・ホームページとして地域・保護者の方々が知りたい内容は何か・ニーズに応じた改善を行っていく。

## 前年度の改善方策について実行した改善結果

- ① 数値目標は、同じ項目に設定した。
  - 内容・実施策等を更に検討し、充実を図ってきた。3項目とも目標値を上回った。
  - ・授業改善を推進し全体で肯定的評価が76%となり、昨年度とほぼ同じ数値を維持した。
  - ・部活動の活動の充実を推進し、部活満足度は1ポイント増でほぼ同じ77%であった。
  - ・地域からの評価は、肯定的評価が83%と昨年度とほぼ同じ(2ポイント減)高い評価を得た。
- ② 生徒が主体的に活動する機会を設定・活用し、生徒が自己肯定感・有用感が持てるようにする。
  - ・生徒会が中心となって落ち葉掃き・焼き芋大会、マス釣り大会などを企画運営することを通して生徒主体の取組を行った。また、宿泊行事や体育祭、学芸発表会の練習等クラスのリーダーを中心に活動を行わせ。多くの生徒の達成感を味わわせることができた。
- ③ 地域運営学校として地域との連携を深めていく。
  - ・挨拶運動や地域行事参加など地域連携活動に取り組んだ。地域の方からの評価は高い。生徒参加型の避難所運営訓練を実施したが、地域の方々の参加率が高められるようにして行くことが今後の課題として改善が求められている。
- ④ 学校からの情報発信機能の充実を図る。
  - ・ホームページの充実については今年度もよい評価とは言えない。ホームページの内容について全体的な見直しを図っていく必要がある。また、項目の見直し、更新内容内容等についての見直しを行い、より分かりやすくしていく努力を行っていく。